

優秀賞 低学年の部

## おにいちゃん、いつもありがとう

奈良県  
橿原市立真菅小学校一年

中道 真桜

「いつてきまーす。」

おにいちゃんがげん気よく、いえを出ていきました。三ばく四日のじゅくのがつしゅくです。こんなにおにいちゃんがないのは、はじめてです。

「さあ、なにをしてあそぼうかな。」  
わたしはわくわくしてきました。

だいすきなぬいぐるみをひとりじめです。ゲームもじゅうにできます。テレビだつてすきなまんががすきなだけみられます。「パーカ。」なんていわれることもありません。ボールなげきょうそうでまけてなくともありません。

ぬいぐるみをぜんぶならべてままごとをしました。ゲームもいっぱいしました。テレビもみました。なんかいもボールなげをしました。

でも、あそんでいるとすぐにおにいちゃんのかおがうかんできます。

「おにいちゃん、いまなにをしているのかな。べんきょう、がんばってるのかな。」あそんでいてもぜんぜんたのしくありません。

せん。おにいちゃんがくらげのぬいぐるみでわたしがイルカのぬいぐるみ。いつものようにおはなししたいな。どうやたら、モンスターをたおせるのだから。おしえてほしいな。テレビをみていっしょにゲラゲラわらいたいな。おにいちゃんをやつたらボールももつとはやくなげられるのに。

「そうか。いつもおにいちゃんがいっしょにあそんでくれるから、たのしいんだ。」

きゆうにさみしくなってきました。

「はやくかえつてきてよ、おにいちゃん。」おにいちゃんがいつしよだとすこくたのしいです。おにいちゃんがいつしよだとすこいことができるんです。わたしもおにいちゃんみたいにつよくてかしこいひひになります。

おにいちゃん、いつもあそんでくれてありがとう。いろいろなことをおしえてくれて、ありがとう。かえつてきたら、いっしょにあそんでね。でも、ちよつとだけやさしくしてね。おねがいね。